



学校だより

令和4年4月7日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

4月号

[卯月 April]

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切に、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

みんな花笑みの学校を目指して

校長 若山 京子



桜の花びらが風に吹かれひらひらと舞い落ち、正門のあたりは薄桃色の絨毯を敷いたようです。先月、第1回目の卒業式を無事に挙行することができました。卒業を祝い PTAの皆さんが企画してくださったバルーンリリースでは、色とりどりの風船が空高く飛び、127名の卒業生の巣立ちを応援していました。そして今日、ピカピカの新1年生72名を迎え、全校児童502名で菅田の丘小学校の2年目がスタートいたしました。新型コロナウイルスの感染状況については依然として先が見通せないところですが、学校生活において

は感染対策に留意しながら、できることに目と心を向けて子どもたちの学びを支援してまいります。保護者、地域の皆様には、今年度も本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校の学校教育目標は「みんな花笑み」と決まりました。この学校教育目標についての話し合いは、担任や教科担任の教諭だけでなく、養護教諭も栄養教諭も事務職員も用務員も調理員も全教職員が参加しました。一度だけでなく、何度も集まり、目指す子どもたちの姿、子どもたちにどのような力を身に付けてほしいか、そのためにどうしたらいいのか、話し合いました。「花笑み」は、昨年度の子どもたちの運営委員会の活動テーマに取り上げられた言葉です。辞書を紐解くと、「花が咲く」「花が咲いたような笑顔」を意味します。日本古来の大和言葉のひとつであり、言葉の響きは柔らかくてぬくもりのある優しい印象を抱きます。菅田の丘小学校では「花笑み運動」「花笑み放送」と子どもたちにとっても教職員にとっても馴染みのある言葉となっています。この言葉に目指す子どもたちの姿を重ねていきたいと考えました。

学校教育目標策定に向けて全教職員で話し合うことで、互いの思いを共有することの大切さにあらためて気付きました。それぞれの多様な考え方を尊重しつつ、同じ方向を目指すためには伝え合うことが大切だと実感しました。このことは子どもたちの取組にも生かしていきたいと思えます。自分の思いや考えをただ一方的に伝えるのではなく、伝え合い、考えを受け止め、違いを認め合うことで、互いに尊重し合う花笑みの姿になるのだと考えます。菅田の丘小学校で目指すのは、「みんな花笑み」です。緑豊かな菅田の丘に、子どもたちの笑顔の花をたくさん咲かせていけるよう、日々の教育活動を充実させてまいります。そして、子どもたちも、教職員も、保護者、地域の方々も、みんなが「花笑み」となる学校づくりに努めていきます。

今後ともお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

